

令和6年度 都立武蔵村山高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	「読む」「書く」「話す」「聞く」の基礎的な力の指導の充実	・5月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・毎週漢字テストを実施 ・校内のビブリオバトルの開催	・大学主催のエッセイコンテストへの応募 ・ビブリオバトルの東京都大会に出場 ・チームスを利用した課題学習に主体的に取り組む指導
地理歴史	・基礎的知識・内容を理解する。 ・基礎的知識・内容の理解をもとに、多面的に地理・歴史を捉える力を身に付ける。	・授業を通して、基礎的知識、授業内容の理解を深める。また、基礎的知識等の定着を図るため、小テストや定期テストを実施する。	・地理・歴史について多面的に見られるように、グループでの話し合い、発表などを計画的に実施する。
公民	基礎的・基本的な知識を確実に習得する。	・基本的な内容を理解を授業内でしっかり確認しながら行う。 ・復習の問題演習を行いながら既習事項の定着を図る。	・既得の知識と関連付けたり組み合わせたりしていくにより、学習内容の深い理解と、個別の知識の定着を図る。
数学	・基本的な概念や原理・法則の理解に向けた学習活動 ・積極的に数学に取り組もうとする態度の育成	・基礎的な内容の反復演習や小テストの実施など、基礎的な学習事項の定着に重点を置いた授業を実施する。 ・一人一台端末を活用し定期的な課題配信を行い、その提出に向けた指導を通して生徒の主体的に取り組もうとする態度を育てる。	・実用数学技能検定受験に向けた指導の実施 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする授業の実施
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	・現象や物質の成り立ち・変化を、論理的に考察する活動を重視した授業を実施する。 ・大学入学共通テストの問題分析を実施する。	・探究の方法やレポートのまとめ方について学習 ・「探究の過程」を踏まえた授業の情報共有を実施
保健体育	「主体的に運動に取り組む」指導の充実 「自他や社会の保健課題の発見や解決に取り組む」指導の充実	・4月の教科会で、観点別評価に即した授業の展開・種目の設定を行う。 ・東京都統一体力テスト体力合計点を都平均290.2を越える取組みの充実を図る。 ・プリントやICTを活用し、課題の合理的、計画的な解決に向けて思考・判断し、他者に伝える力を育成する。	・日常の運動習慣を身に付けることができるよう、全学年でICTを活用した授業を行う。 ・保健課題の解決に向け、ICTを積極的に活用し、グループワークで様々な意見を引き出すことで課題解決を促す。
芸術	主体的に芸術の幅広い表現活動と深い学びに取り組める実習の充実	・全体への一斉指導(実演)と机間指導による細やかな支援のメリハリをつける。 ・興味・関心が広がる幅広い分野の題材を設定する。 ・意欲に応じて授業時間外での補習に対応する。	・長期休業や空き時間を活用し、芸術系学校の進路実現に向けた個別指導を行う。 ・芸術系上級学校との連携を検討する。
外国語	聞く力、読む力、話す力、書く力を伸ばす指導を偏りなく行い、英検3級合格レベルの力を身に付ける。	・単語や動詞活用的小テストを週1回程度実施 ・1・2学年に英検3級全員受験を実施 ・1学年に、オンライン英会話講座を実施 ・夏休みにグローバルスキル講座を実施 ・TGGIにて実用基礎英会話体験に参加	・家庭学習用課題への取り組み(予習・復習) ・グローバルスキル講座(準2級・2級)に参加 ・TGGIにて実用発展英語会話体験に参加
家庭	家庭や地域の生活を創造する資質・能力の育成	・実践的・体験的な学習の充実 ・生活の中から問題を見だし、その課題を解決する過程を重視した学習活動の実施	・全国高等学校家庭クラブ連盟の「ホームプロジェクトコンクール」を想定した課題の作成 ・他者と問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を育成する授業の実施
情報	基礎知識の定着とメディアリテラシーの実践的な習得 チームワークによるコミュニケーション能力の習得	・情報化社会の生活に必要な基礎知識を、パソコンや体験型ソフトウェア、動画等の学習教材を用いて身に付けさせる。 ・SNS上の情報を分析し真偽の判断や信憑性の高い情報収集方法をグループワークやディベート等で考察、発表させる。	・情報Ⅰ各単元の最終課題で、グループワーク(協働作業)でのプレゼンテーション制作